

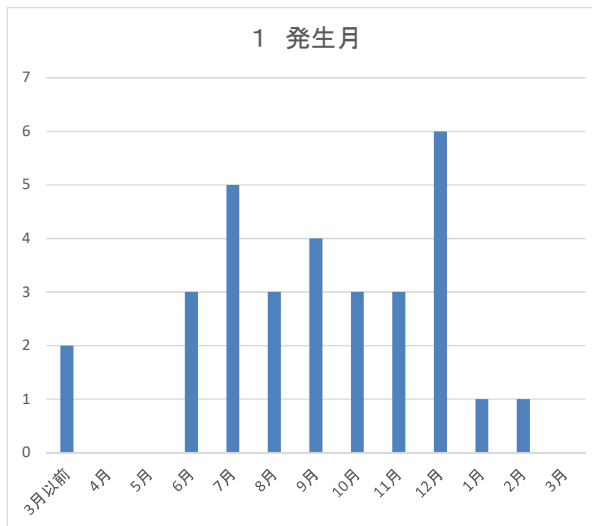
令和2年度 介護保険事業者における事故報告(集計・分析結果)について

令和3年11月 多賀城市

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間内に、多賀城市に報告のあった介護事業者における事故報告を集計、分析しました。今後の事業運営及び介護事故防止に役立ててください。

1 発生月

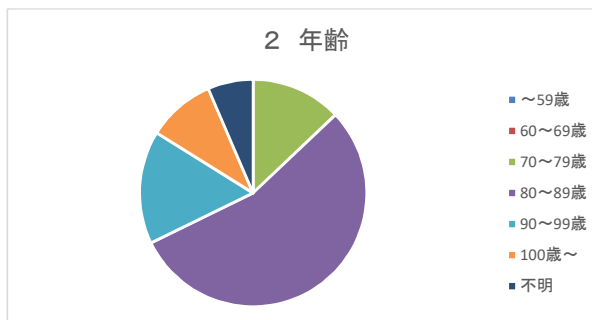
発生月	件数	構成率
3月以前	2	6.5%
4月	0	0.0%
5月	0	0.0%
6月	3	9.7%
7月	5	16.1%
8月	3	9.7%
9月	4	12.9%
10月	3	9.7%
11月	3	9.7%
12月	6	19.3%
1月	1	3.2%
2月	1	3.2%
3月	0	0.0%
合計	31	100.0%



令和2年度中に市へ提出のあった事故報告書は、31件です。
月では、12月が6件(19.3%)と多く、次いで7月が5件(16.1%)となっています。

2 年齢

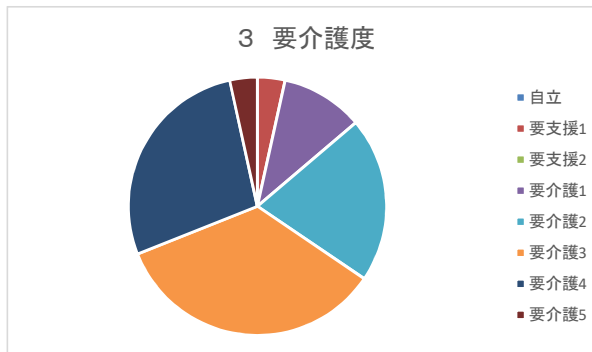
年齢	件数	構成率
～59歳	0	0.0%
60～69歳	0	0.0%
70～79歳	4	12.9%
80～89歳	17	54.8%
90～99歳	5	16.1%
100歳～	3	9.7%
不明	2	6.5%
合計	31	100.0%



年齢別の事故件数では、80歳代の利用者が半数(54.8%)を占めています。
一方で、70歳代より若い年齢層では約1割程度(12.9%)にとどまっています。
なお、食品のカビ発生及び送迎車両の交通事故の2件は、不明に計上しています。

3 要介護度

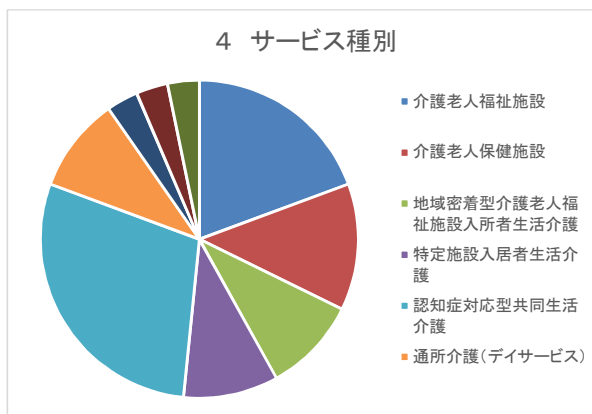
要介護度	件数	構成率
自立	0	0.0%
要支援1	1	3.2%
要支援2	0	0.0%
要介護1	3	9.7%
要介護2	6	19.4%
要介護3	10	32.3%
要介護4	8	25.8%
要介護5	1	3.2%
合計	29	93.5%



要介護度別の事故件数では、要介護度3の10件(32.3%)が最も多く、次いで要介護度4の8件(25.8%)の順で多くなっています。
一方で、要支援1・2の利用者の事故は、1件(3.2%)にとどまっています。
なお、食品のカビ発生及び送迎車両の交通事故の2件は、集計に含めていません。

4 サービス種別

サービス種別	件数	構成率
介護老人福祉施設	6	19.4%
介護老人保健施設	4	12.9%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	9.7%
特定施設入居者生活介護	3	9.7%
認知症対応型共同生活介護	9	29.0%
通所介護(デイサービス)	3	9.7%
通所リハビリテーション	1	3.2%
訪問介護	1	3.2%
サービス付き高齢者向け住宅	1	3.2%
合計	31	100.0%

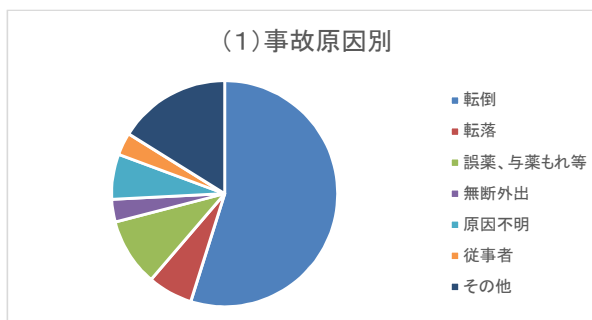


サービス種別ごとの件数は、認知症対応型共同生活介護の9件(29.0%)が最も多く、次いで介護老人福祉施設の6件(19.4%)の順となっています。
また、入所系サービスと通所系サービスに分けてみると、入所系サービスでの事故が26件(83.9%)、通所系サービスが5件(16.1%)と圧倒的に入所系サービスでの事故が多くなっています。

5 事故の内容

(1) 事故原因別

事故原因	件数	構成率
転倒	17	54.8%
転落	2	6.5%
誤薬、与薬もれ等	3	9.7%
無断外出	1	3.2%
原因不明	2	6.5%
従事者	1	3.2%
その他	5	16.1%
合計	31	100.0%



事故の原因としては、転倒の17件が最も多く、事故の半数(54.8%)を占めています。
なお、その他の内容としては、骨粗鬆症によるもの3件、食品のカビ発生1件、送迎車両の交通事故1件となります。

(2) サービス種別×事故原因

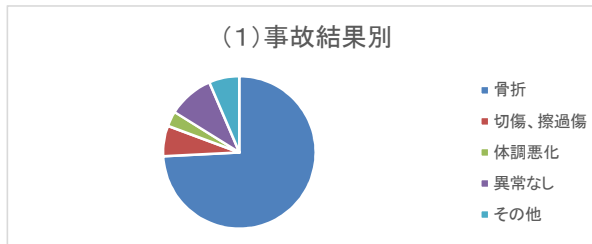
事故原因 サービス種別	転倒	転落	誤薬・与薬もれ等	無断外出	原因不明	従事者	その他	合計	構成比
介護老人福祉施設	4				1		1	6	19.4%
介護老人保健施設	2						2	4	12.9%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1					1	3	9.7%
特定施設入居者生活介護			3					3	9.7%
認知症対応型共同生活介護	6	1		1	1			9	29.0%
通所介護(デイサービス)	1					1	1	3	9.7%
通所リハビリテーション	1							1	3.2%
訪問介護	1							1	3.2%
サービス付き高齢者向け住宅	1							1	3.2%
合計	17	2	3	1	2	1	5	31	100.0%
構成比	54.8%	6.5%	9.7%	3.2%	6.5%	3.2%	16.1%		100.0%

サービス種別と事故原因をクロス集計したものです。
事故原因として最も多い転倒は、施設系サービス・通所系サービスともに発生しています。
また、特定施設入居者生活介護では、誤薬・与薬もれ等が事故の原因となっています。

6 事故の結果

(1) 事故結果別

事故結果	件数	構成率
骨折	23	74.2%
切傷、擦過傷	2	6.5%
体調悪化	1	3.2%
異常なし	3	9.7%
その他	2	6.5%
合計	31	100.0%



※その他: 食品のカビ発生1件、意識消失1件

事故による結果は、骨折が23件で最も多く、事故の半数以上(74.2%)を占めています。なお、その他の内容としては、食品のカビ発生1件、送迎車両の交通事故1件となります。また、異常なしとは、誤薬・与薬もれ等が発生したものの結果的に体調等の悪化等がなかった事案となります。

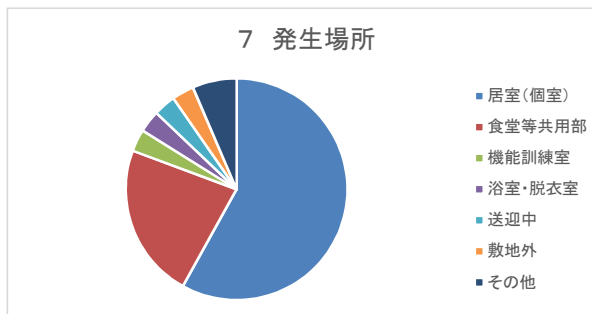
(2) サービス種別×事故結果

事故結果 サービス種別	骨折	切傷 擦過傷	体調悪 化	異常なし	その他	合計	構成比
介護老人福祉施設	6					6	19.4%
介護老人保健施設	3				1	4	12.9%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3					3	9.7%
特定施設入居者生活介護				3		3	9.7%
認知症対応型共同生活介護	6	2	1			9	29.0%
通所介護(デイサービス)	2				1	3	9.7%
通所リハビリテーション	1					1	3.2%
訪問介護	1					1	3.2%
サービス付き高齢者向け住宅	1					1	3.2%
合計	23	2	1	3	2	31	100.0%
構成比	74.2%	6.5%	3.2%	9.7%	6.5%	100.0%	

サービス種別と事故結果をクロス集計したものです。事故結果として最も多い骨折は、サービス種別に関わらず発生しています。

7 発生場所

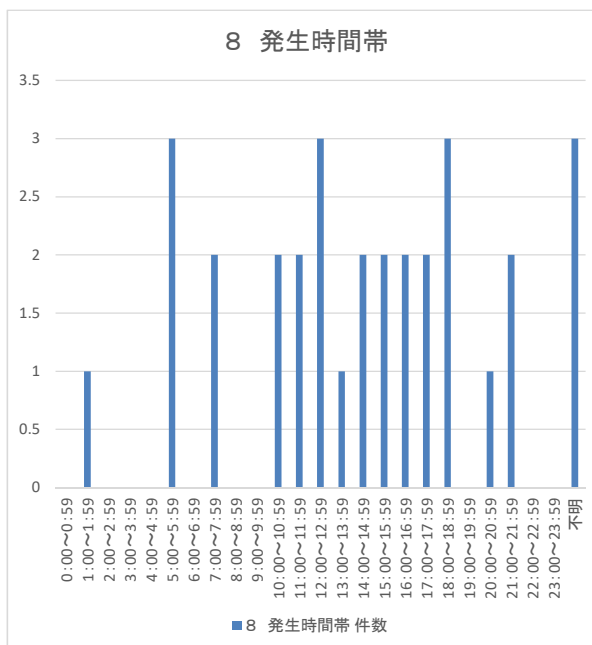
発生場所	件数	構成率
居室(個室)	18	58.1%
食堂等共用部	7	22.6%
機能訓練室	1	3.2%
浴室・脱衣室	1	3.2%
送迎中	1	3.2%
敷地外	1	3.2%
その他	2	6.5%
合計	31	100.0%



事故の発生場所は、居室内(個室)が半数以上(58.1%)を占めています。利用者が居室内で自ら行動を起こそうとして転倒等につながった事案が多く報告されています。なお、その他の内容としては、食品のカビ発生1件、事業所の玄関1件となります。

8 発生時間帯

発生時間	件数	構成率
0:00~0:59	0	0.0%
1:00~1:59	1	3.2%
2:00~2:59	0	0.0%
3:00~3:59	0	0.0%
4:00~4:59	0	0.0%
5:00~5:59	3	9.7%
6:00~6:59	0	0.0%
7:00~7:59	2	6.5%
8:00~8:59	0	0.0%
9:00~9:59	0	0.0%
10:00~10:59	2	6.5%
11:00~11:59	2	6.5%
12:00~12:59	3	9.7%
13:00~13:59	1	3.2%
14:00~14:59	2	6.5%
15:00~15:59	2	6.5%
16:00~16:59	2	6.5%
17:00~17:59	2	6.5%
18:00~18:59	3	9.7%
19:00~19:59	0	0.0%
20:00~20:59	1	3.2%
21:00~21:59	2	6.5%
22:00~22:59	0	0.0%
23:00~23:59	0	0.0%
不明	3	9.7%
合計	31	100.0%



事故発生の時間帯としては、起床後や食事を終えた後(昼食後・夕食後)が3件と最も多く、利用者の活動する機会が多い10時から12時までの時間帯及び14時から17時までの時間帯が多くなっています。また、発生時刻が不明という事案も発生しています。

9 発生時間帯×発生場所

発生時間帯	発生場所							合計	構成比
	居室(個室)	食堂等共用部	機能訓練室	浴室脱衣室	送迎中	敷地外	その他		
0:00~0:59								0	0.0%
1:00~1:59	1							1	3.2%
5:00~5:59	3							3	9.7%
7:00~7:59	1	1						2	6.5%
10:00~10:59	1	1						2	6.5%
11:00~11:59	1			1				2	6.5%
12:00~12:59	1	1	1					3	9.7%
13:00~13:59	1							1	3.2%
14:00~14:59	1						1	2	6.5%
15:00~15:59		1			1			2	6.5%
16:00~16:59	1						1	2	6.5%
17:00~17:59	1	1						2	6.5%
18:00~18:59	1	1				1		3	9.7%
20:00~20:59	1							1	3.2%
21:00~21:59	1	1						2	6.5%
不明	3							3	9.7%
合計	18	7	1	1	1	1	2	31	100.0%
構成比	58.1%	22.6%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	6.5%	100.0%	

事故の発生時間帯と発生場所をクロス集計したものです。時間帯に関わらず居室(個室)での発生が多く、利用者が多くの時間を居室で過ごしていることが推測されます。

10 事故原因×発生場所

発生場所 事故原因	居室 (個室)	食堂等 共用部	機 能 訓練室	浴 室 脱衣室	送迎中	敷地外	その他	合計	構成比
転倒	11	4	1				1	17	54.8%
転落	2							2	6.5%
誤薬、与薬もれ等		3						3	9.7%
無断外出						1		1	3.2%
原因不明	2							2	6.5%
従事者				1				1	3.2%
その他	3				1		1	5	16.1%
合計	18	7	1	1	1	1	2	31	100.0%
構成比	58.1%	22.6%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	6.5%	100.0%	

事故の原因と発生場所をクロス集計したものです。
 転倒は、居室内(個室)で特に多く発生しています。職員の目の届かない場面で、利用者自身で行動を起こそうとした結果、発生するケースが多いです。
 また、骨粗鬆症が原因となる事故も居室内(個室)で発生しています。

11 事故原因×事故結果

事故結果 事故原因	骨折	切 傷 擦過傷	体調悪 化	異常なし	その他	合計	構成比
転倒	15	2				17	54.8%
転落	2					2	6.5%
誤薬、与薬もれ等				3		3	9.7%
無断外出			1			1	3.2%
原因不明	2					2	6.5%
従事者					1	1	3.2%
その他	4				1	5	16.1%
合計	23	2	1	3	2	31	100.0%
構成比	74.2%	6.5%	3.2%	9.7%	6.5%	100.0%	

事故の原因と事故結果をクロス集計したものです。
 事故結果の原因で最も多かったのは、「転倒による骨折」で15件(48.4%)でした。高齢者の転倒は骨折リスクが非常に高いことが分かります。